

「一般国道33号越知道路（野老山地区）」  
野老山トンネル工事の貫通式について

国土交通省土佐国道事務所が、工事を進めております一般国道33号越知道路において、平成15年度に工事着手いたしました「野老山トンネル工事」（L=340m）が約1年の工事期間を経て、8月26日に貫通する運びとなりました。

今後は残るコンクリート覆工等の工事を行い同トンネルの11月末の完成を図るとともに、越知道路（野老山地区）の平成18年度部分供用（L=1.0km）を目指し、事業の進捗を積極的に進めているところであります。

なお、貫通の8月26日（木）に野老山トンネル内において工事施工業者の主催により貫通式が午前11時00分より執り行われます。

平成16年8月19日

国土交通省 土佐国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 土佐国道事務所

TEL (088) 884-0359

副所長 中山義男 内線(204)

工務課長 川田昭彦 内線(411)

## 一般国道33号 越知道路の野老山トンネル工事概要

トンネル名称	野老山トンネル（仮称）
トンネル延長	340m
構造規格	道路規格 第3種第2級 設計速度 60 km/h
幅員	10.75m (2.5 - 0.5 - 3.25 - 3.25 - 0.5 - 0.75)
工事箇所	高知県高岡郡越知町野老山
工事期間	平成15年3月20日～平成16年11月30日
工事費	約16億円
発注者	国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所
受注者	株式会社 間組

### 完成予想図（松山側）



## 貫 通 式 の 予 定

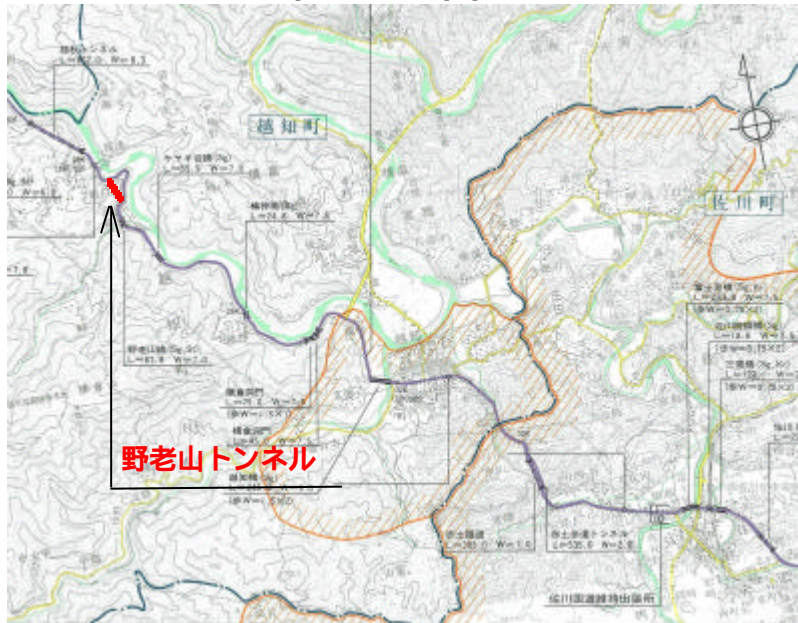
日 時：平成16年 8月 26日(木) 午前11時00分より  
(受付開始午前10時30分)

場 所：高知県高岡郡越知町野老山 野老山トンネル内

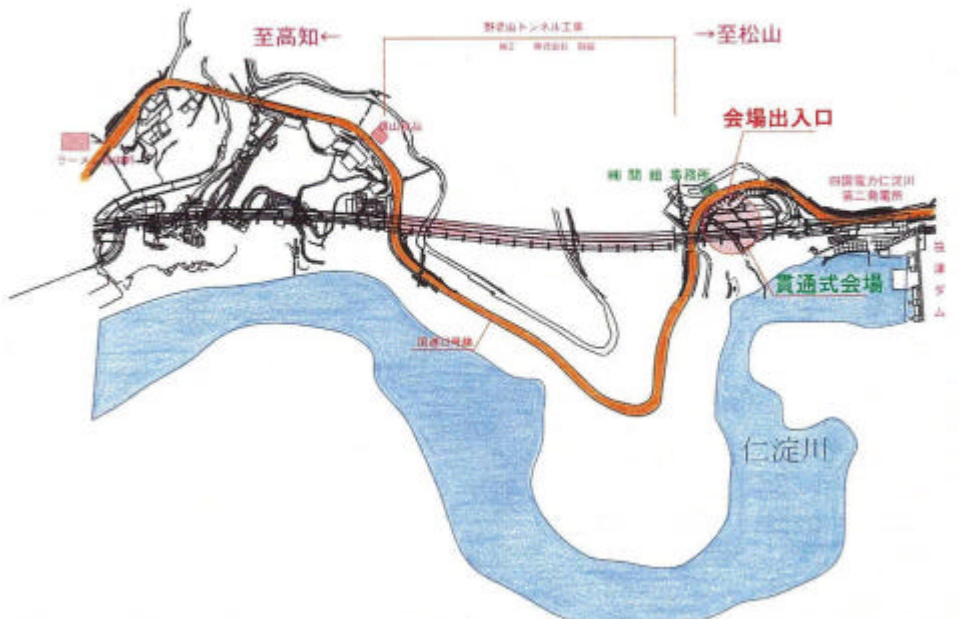
主 催：工事施工業者 株式会社 間組

一般国道33号 越知道路 野老山トンネル工事貫通式会場

### 位 置 図



### 野老山トンネル貫通式会場 案内図



- 参考資料 -

## 「一般国道33号 越知道路の事業概要」

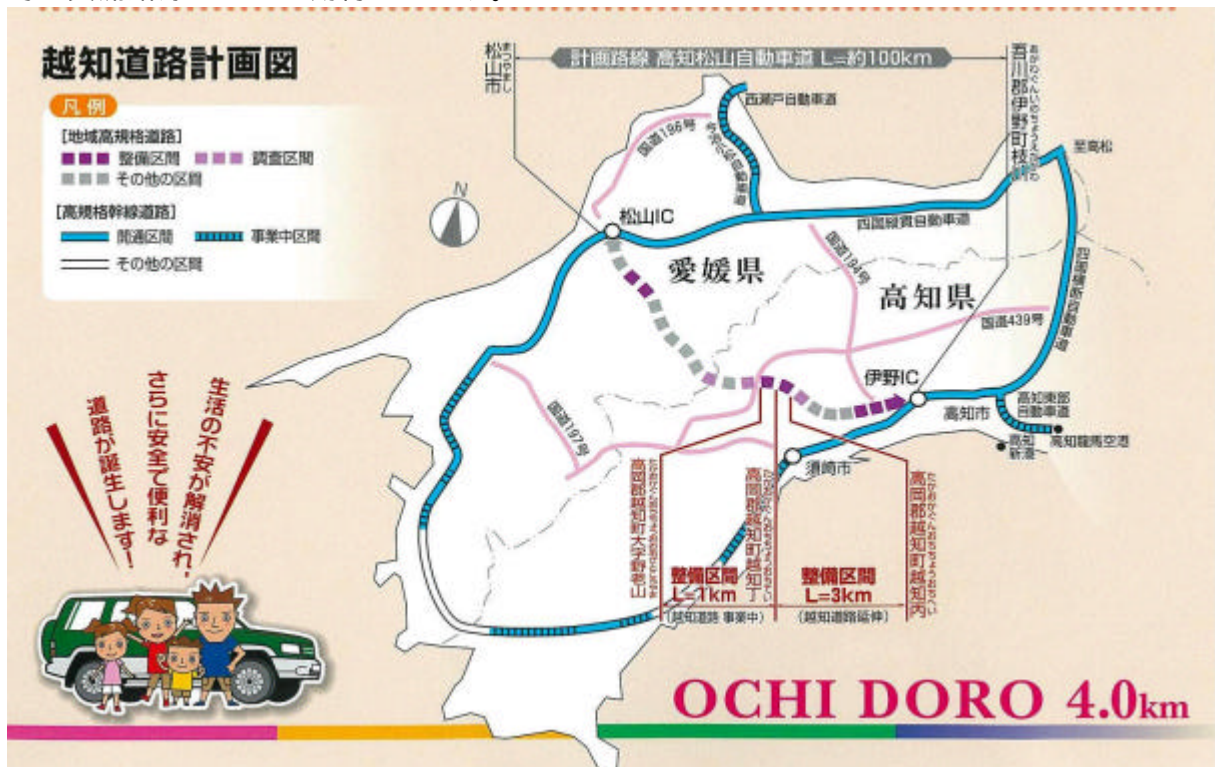
### 概要

一般国道33号は、高知市と松山市を結ぶ、延長118kmの幹線道路であるとともに、自動車以外の交通手段のない中山間地域にとって日常生活に欠くことのできない重要な路線です。

しかし、急峻な四国山地を通過するため、急カーブなどの線形不良箇所が多いことや、地滑りや落石の危険箇所が多く、異常気象時の事前通行規制区間が連続するなど、課題の多い路線となっています。

そこで、特に一般国道33号の中でもこれらの課題の多い区間を、越知道路(越知町越知丙～越知町野老山 L=4.0 km)として防災対策・線形改良を目的として事業を進めていますが、その中でも野老山地区(越知町越知丁～越知町野老山 L=1.0 km)は、特に線形が悪く最初に着手しているところです。

なお、将来の地域高規格道路(高知松山自動車道)としても位置づけられ、地域間の広域的な交流路線としても期待されます。



- 参考資料 -

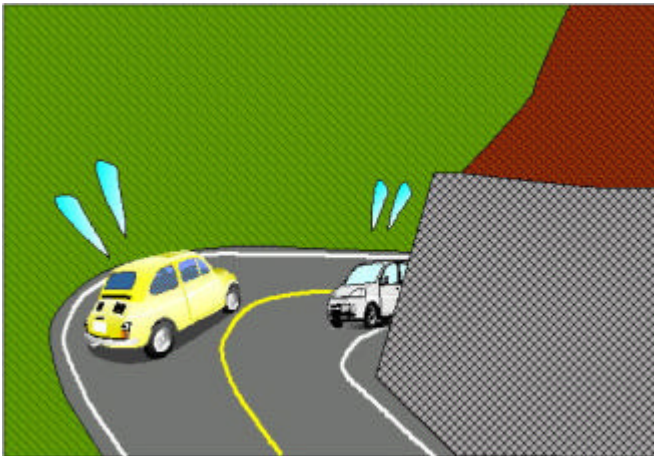
## 事業経緯

事業化 平成 8年度  
用地着手 平成 11年度  
工事着手 平成 12年度

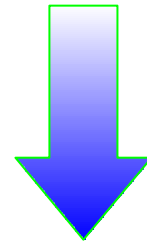
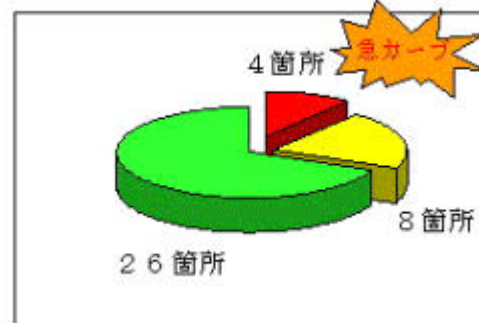
## 整備効果

# 越知道路が完成すると...

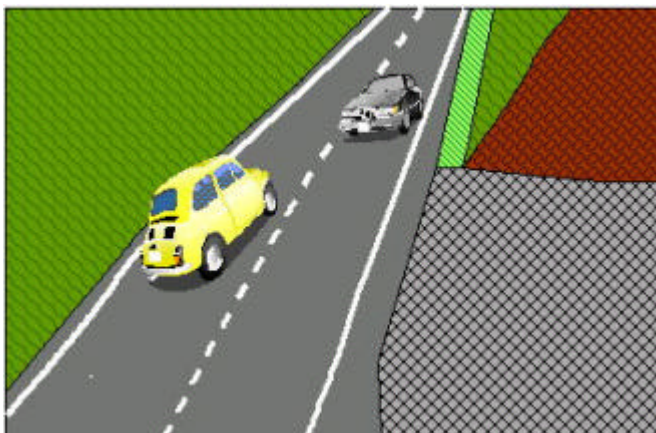
線形不良箇所が改良され走行性・安全性が向上します。



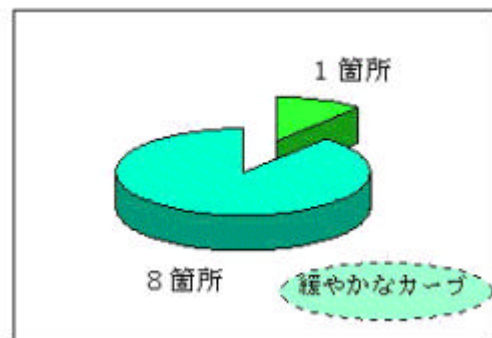
現況道路



急カーブ  
の解消



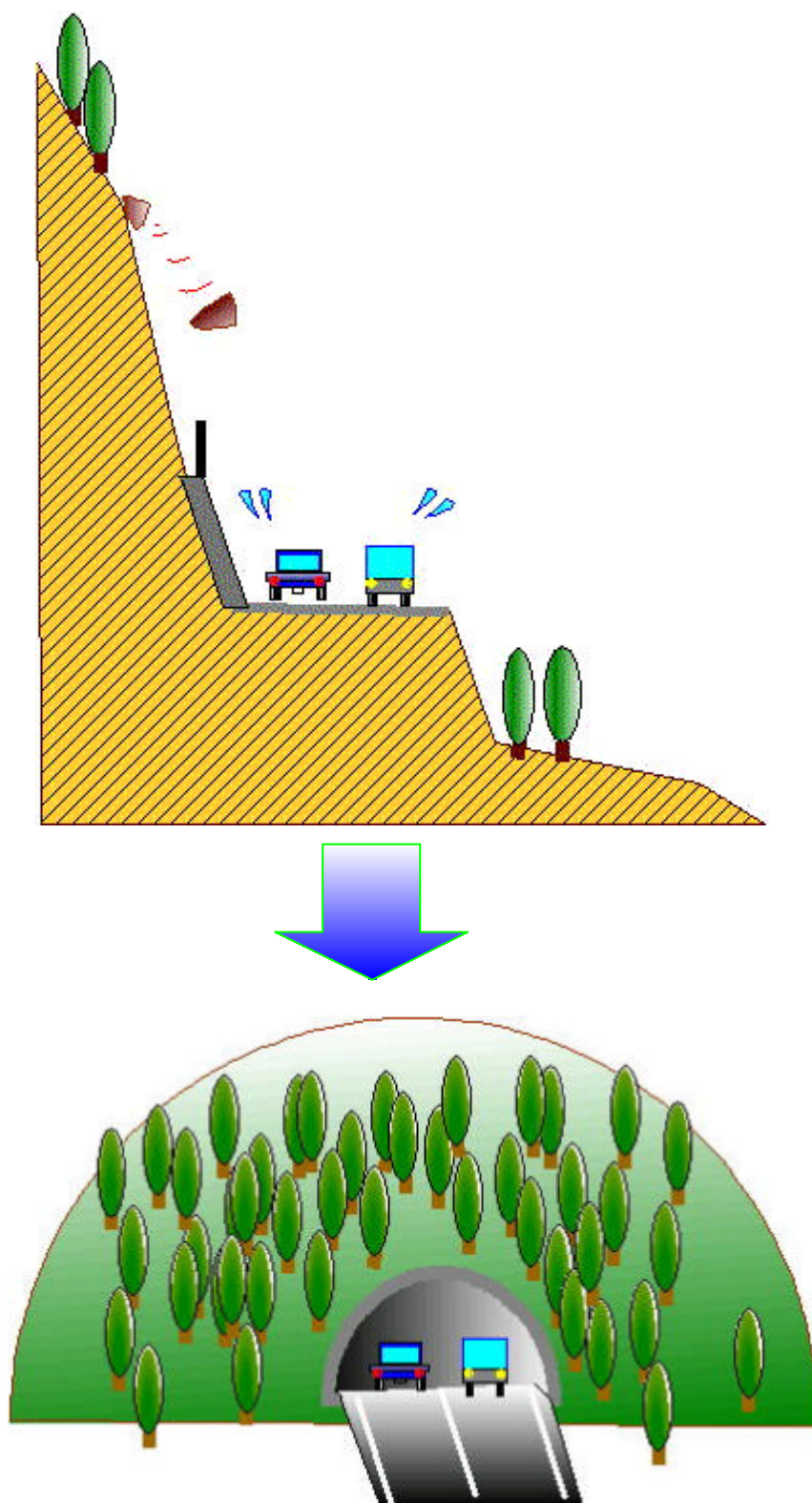
計画道路



道路の曲線半径	
60m未満	急カーブ
60~100m未満	
100~300m未満	
300m以上	緩やかなカーブ



※走行速度を50km/hと仮定した場合

落石等の危険箇所をトンネルや橋梁により回避することで、安心して安全な通行が可能となります。



## 高知松山自動車道がつながると...

広域的な地域連携が図られ、中山間地域の医療体制の工場と、地域間の交流や産業の発展に貢献します。

- 1 緊急時の搬送経路が確保されます**  
常時走行が可能となり、病気、事故、災害などの緊急搬送時に、よりスピーディーな移送が可能となり、救命率が向上します。
- 2 地域の交流・連携が活発化されます**  
快適で美しい道路空間が形成されることにより、道路沿線の発展を促し、地域の核となる地域交流拠点の形成や、地域間交流・連携が図られます。
- 3 広域交流としての幹線ネットワークが強化されます**  
豊かな自然と伝統文化など地域の魅力を生かした観光振興や主要産業である農林産物を安定して出荷することが可能となり、地域の活性化が図られます。